

## 患者さん/ご家族の方へ

「経皮的左心耳閉鎖システムを用いた非弁膜症性心房細動患者の塞栓予防の有効性と安全性に関する多施設レジストリー研究：J-LAAO」へのご協力をお願い

### 1. 研究の目的

塞栓症リスクが高いにもかかわらず長期的抗凝固療法を行うことができない非弁膜症性心房細動患者さんで、日本全国の施設で経皮的左心耳閉鎖システムを用いた治療を受けた患者さんの治療前、治療中、治療後のデータを蓄積して、本治療法を安全かつ有効な治療法とするために活用します。

### 2. 研究の方法

本研究におけるデータの登録はデバイスの種類に応じ、治療前、退院時、治療から45日後、6か月後、1年後、2年後、3年後のいずれかにそれぞれ行い、データセンターである国立循環器病研究センターへデータは集められます。登録されるデータは症状の程度や服薬内容、血液検査や心エコーなど日常診療の範囲内で当然チェックされる検査項目のみであり、この研究のために追加の検査や治療をすることはありません。本研究は日本循環器学会の研究倫理審査委員会および本院の倫理審査委員会の承認を受けています。

データ登録に際しては、個人情報保護の観点から個人が特定されないように匿名化されており、セキュリティのかかったデータベース上でデータは管理されています。

このデータは、日本循環器学会としての集計目的以外に、色々な研究目的で使用を希望される他機関の研究者（研究グループ）にも活用していただくことになっております。その際には、各研究者（研究グループ）が研究計画書を日本循環器学会に申請し、研究の実施が日本循環器学会で承認された場合のみにデータを提供します。

### 3. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、血液検査値（クレアチニン、eGFR、血小板 等）病歴治療歴、副作用等の発生状況 等

### 4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、クラウド型 EDC システムを用いて特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。さらに収集されたデータは、あらかじめ承認されたユーザのみがアクセスできる、完全に暗号化されたデータベースに格納されます。対応表は、当センターの個人情報管理者が保管・管理します。

### 5. この研究参加によって、あなたにもたらされる利益・不利益

今回の研究参加により、すぐに直接的な利益がもたらされる訳ではありませんが、将来、あなたと同様に塞栓症リスクが高いにもかかわらず長期的抗凝固療法を行うことができない非弁膜症性心房細動患者さんにおいて最も適した治療方針を決めるうえで、あるいは経皮的左心耳閉鎖システムを安全かつ効果的に使用する上で、この研究成果が反映される可能性があります。

カルテ等からの情報収集のみであるため、特に不利益はありません。

## 6. 研究への情報使用の取りやめについて

患者さん個人の情報を研究に用いられたくない場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めを希望された場合でも、担当医や他の職員と気まずくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありませんので、下記 10.【問い合わせ窓口】までお申し出ください。

## 7. 研究資金源および利益相反について

この研究に関する費用は、日本循環器学会の資金によって支払われます。日本循環器学会は、様々な外部の団体からの寄付を受けて運営されていますが、その中に経皮的左心耳閉鎖システムの一つである「Watchman®」を販売するボストン・サイエンティフィックジャパン（株）、「Amulet™」を販売するアボットメディカルジャパン合同会社も含まれていますが、日本循環器学会として登録されたデータの集計や発表を行う際に、同社が関与することはありません。

登録されたデータの使用を認められた他機関の研究者（研究グループ）の研究に必要な費用は、各研究者（研究グループ）が自ら調達します。

当院の一部の研究者はアボットメディカルジャパン合同会社より技術指導料や講演料等を受領していますが、本研究の計画・実施およびその成果発表の決定に当該企業が影響を与えることはありません。これらの利益相反状態については、共同倫理審査委員会へ申告しており、利害関係について公平性を保つように管理されています。本研究の利害関係については、共同倫理審査委員会の承認を得ております。

## 8. この研究の成果はだれのものか

この研究から何らかの成果が生まれ、知的所有権(人の考えた事が、社会的に価値があると認められ、そこにお金が発生する事)が生じる可能性があります。日本循環器学会が登録されたデータの集計を行うことで生じる知的所有権は、日本循環器学会に帰属します。登録されたデータを使用して他機関の研究者（研究グループ）が研究を行った結果として生じる知的所有権は、研究者（研究グループ）あるいはその所属機関に帰属します。

## 9. 研究の実施体制

主任研究者

小林 欣夫 日本循環器学会 代表理事（千葉大学大学院医学研究院 循環器内科学教授）

## 10. 問い合わせ窓口

この研究に関して聞きたいことがありましたら、以下の担当者にお問い合わせください。

**照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：**

医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院 循環器内科 谷 友之（研究責任者）

住所：札幌市東区北 33 条東 14 丁目 3 番 1 号 電話番号：011-722-1110

2025 年 2 月 3 日作成 第 3 版